

12月のお休み
15(日)・23(月)・27(金)
28(土)~31(火)年末の休み

おはなし会
12月21日(土)13時~



11月9.10日の両日『山香ふるさとまつり』がおこなわれました。山香図書室も期間中「ブックリサイクル」や「紙あそび」と題して、風車(かざぐるま)や立体的な果物やキノコを作るイベントを開催しました。多くの方々にご参加いただき、図書館に親しんでいたようです。ご参加ありがとうございました。

やまが 図書室だより

2013.12月号(NO6)



暑かった夏がうその様な今日この頃ですが、いかがお過ごしですか？

12月の図書室では、毎年『雪の結晶』のモビールが絵本コーナーに登場します。きれいでしょう~。

雪には、いろいろな形があるんだなーと改めて思います。寒いですが、楽しみも多い季節ですね。

じどうしょしょうかい

『こんぶのぶーさん』

岡田よしたか(著)

ブロンズ新社



こぶまきのぶーさんは、まんざいしをめざすことにしました。さっそく、町のあちこちに相方募集のはり紙をはって歩きます。いよいよはじまった、相方オーディション。めざしに、あずき、ゆでたまご、モンブラン。なかなかぴったりの相方はみつかりません。やる気をなくしたぶーさんが、だらけていると.....

『うさぎとかめ』

ジェリー・ピンクニー/作

さくまゆみこ/訳 光村教育図書



うさぎとかめが、どちらが速く走れるかで言い争いになりました。では競争をしようと、きつねの合図で走り出しましたが.....。イソップの世界を、大迫力の

イラストで語る、コルデコット賞受賞の姉妹作。

新着本紹介

『ダイオウイカ、奇跡の遭遇』

窪寺恒己(著) 新潮社



世界中の研究者が追い続けたにもかかわらず、その姿を捉えることができなかった幻の巨大イカを探し求めて十余年。数々の失敗を乗り越え、試行錯誤の末、2012年夏、小笠原の深海でダイオウイカ撮影に成功。奇跡のプロジェクはいかに成し遂げられたのでしょうか。

『離婚男子』

中場利一(著) 光文社



夫婦ゲンカしたまま長距離トラックの仕事に出た健二が帰宅すると、妻の香織が、二歳半の一人娘・シーちゃんを残し、ありったけの家財道具を持って家出していた。な・ん・で・や?

長距離の仕事をしなが、消えた妻を捜す健二。慣れぬ子育てに四苦八苦しつつも、大型タンクローリーの助手席に可愛いシーちゃんを乗せ、今日も東奔西走するのだがー